

# ■ 浚渫の影響評価 ～ハビタット区分2の指標種のモデル化方法～



区分2の指標種のモデル化は、粒度組成の面的なデータが不明であり、調査地点のデータに制限されるため、これまでの調査結果のデータ(地盤高・粒度組成)から**選好度モデル**を採用した。

## ■ Jacobsの選好度指数

$$D_{sa} = \frac{r_s - p_a}{r_s + p_a - 2r_s p_a}$$

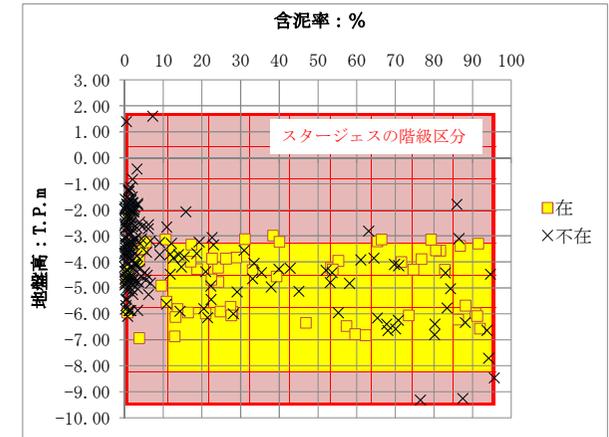
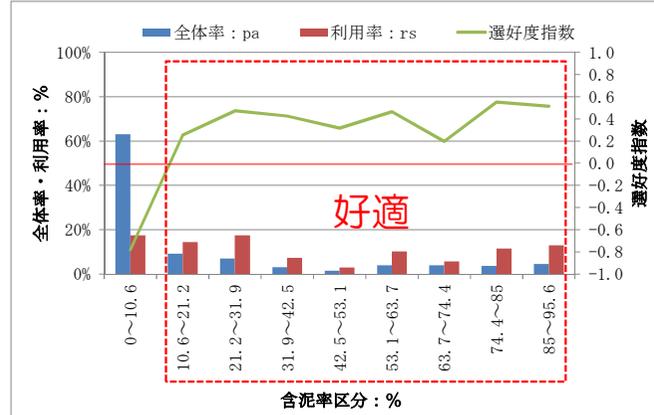
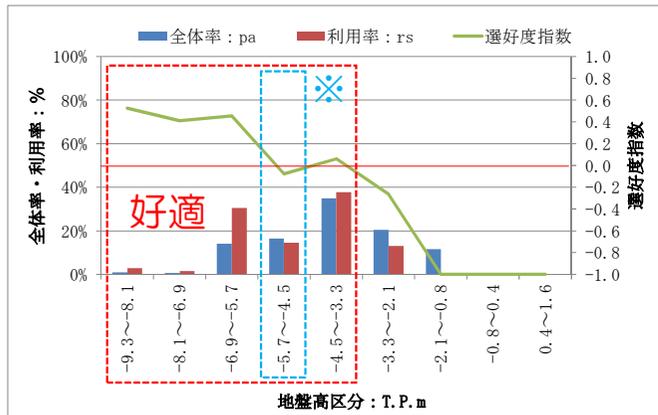
※階級区分はスタージェスの公式を使用。  
階級数 =  $1 + \log_2 N$

## ■ 選好度指数 $D_{sa}$

- $D_{sa} > 0$  : 環境資源を選択的に利用している。
- $D_{sa} \leq 0$  : 環境資源を選択的に利用していない。
- 全体率  $p_a$  : 分析対象地の全環境資源に含まれる特定の環境資源の割合。
- 利用率  $r_s$  : 解析対象生物が利用した全環境資源のうち、各環境資源の占める割合。



### (例) シノブハネエラスピオの選好度モデル



※ 飛び地をなくすため選好度指数0.0未満の範囲も好適とみなす。

#### ■ 選好度判定

判定	不在	在	合計
選好性無し	204	20	224
選好性有り	54	49	103
合計	258	69	327

#### ■ モデル正解率

感度	71.0%
特異度	79.1%
正解率	77.4%

- 地盤高: T.P.-8.1m~-3.3m
- 含泥率: 10.6%~95.6%
- 全データ(n=327)に対してモデルを適用すると103箇所が好適性と判定  
⇒※正解率77.4%

